

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2024/02/20

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	36.04	0.04
JPY/THB	0.2400	0.0004
USD/JPY	150.13	-0.08
EUR/THB	38.85	0.06
EUR/USD	1.0779	0.0002
USD/CNH	7.211	-0.001
SGD/THB	26.76	0.02
AUD/THB	23.57	0.06
USD/INR	83.02	0.00
USD Index	104.29	0.02

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.283	-0.005
10Y (THB)	2.571	-0.007
5Y (USD)	4.274	0.000
10Y (USD)	4.279	0.000

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	2,011.5	0
WTI (Oil)	79.19	0
Copper	8,434.5	-54.5

Stock

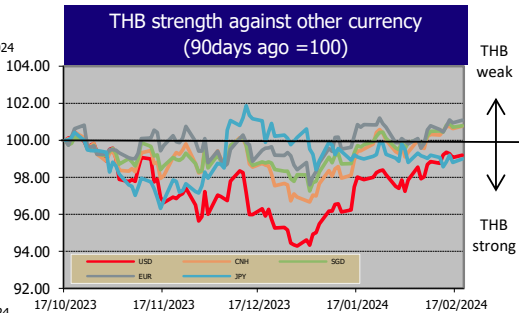
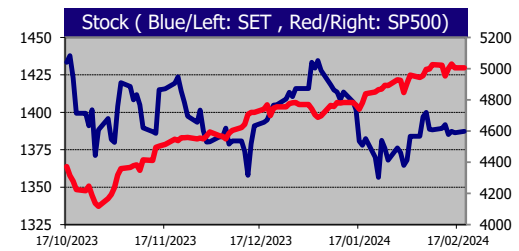
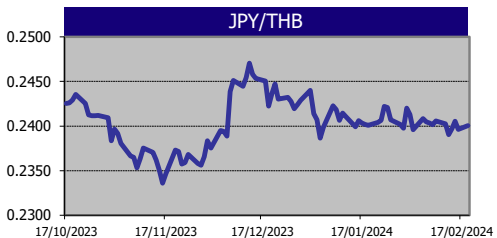
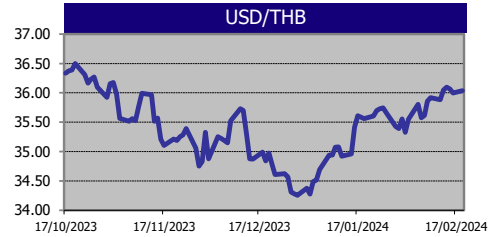
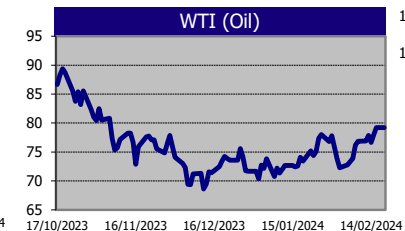
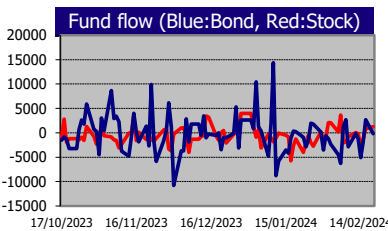
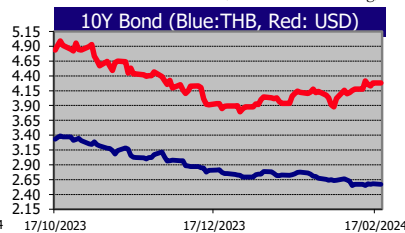
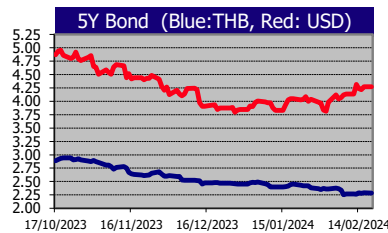
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,387.33	1.06
NIKKEI (JP)	38,470.38	-16.86
DOW (US)	38,627.99	0.00
S&P500 (US)	5,005.57	0.00
SHCOMP (CN)	2,910.54	44.64
DAX(GER)	17,092.26	-25.18

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,223	389.5
Bond net flow	(196)	-2848.8

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルバツ

・昨日のドルバツはほぼ横ばいでの推移。36バツ手前付近で取引を開始。朝方、タイ第4QGDPが発表され、前期比で▲0.6%、2023年通年で+1.9%の成長率と市場予想を下回る結果となったものの、市場の反応は限定的なものに留まり、ドルバツは同水準での推移が継続。ただ、海外時間に入ると、米国休日で特段材料ない中ではあるものの、ドルバツは上昇に転じ、36バツ台を回復。そのまま36.04レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

・昨日のドル円はほぼ変わらず。150円台前半で取引を開始すると、円買い優勢の展開に。早々に150円を割り込むと、しばらく149円台後半での推移が継続。海外時間、米国休日となる中、150円台前半まで戻し、150.13レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

昨日発表されたタイ第4QGDPは前期比で▲0.6%、2023年の年間ベースでは+1.9%と市場予想(同+2.2%)を下回る結果となった。フィリピン(同+5.6%)、インドネシア(同+5.05%)、マレーシア(同+3.8%)等、他のASEAN諸国と比べても見劣りする数値となっており、今回の結果を受けて年初から利下げ要請を続けているタイ政府からの圧力はさらに高まることが想定されよう。ただ、今回の数値の内訳を見ると、民間消費支出は第4Qで+7.4%となっており、力強さを維持している。これは前回のタイ中銀による金融政策委員会後に公表された声明文「タイの内需は拡大を続けて」おり、タイ経済減速の要因は「外部、及び構造的な要因」としたものに沿った結果であったと捉えることもできる。実際、昨日タイ中銀から「民間消費は想定以上に強い」旨のコメントが出されている。加えて、タイ経済の懸案事項の一つである中国人観光客の戻りについても昨年12月には大幅な伸びが確認されているし、年始、春節休暇を経た2024年の動向も堅調な推移が想定されるところであり、動向の確認が必要な状況。以上を踏まえれば、今回の結果を以ってタイ中銀がスタンスを変更する公算は大きくないものと考えており、早速今朝セーター首相より利下げに向けた緊急会合を要請する発言が出ているが、早急に利下げが行われる可能性は低いものと考えている。ただ、関連ニュースに相場が反応する可能性は相応に考えられ、ヘッドラインリスクには留意しておきたいところ。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.